





アンケートで2人に1人は農家に嫁ぐ気持があるの回答。要は後継者自身の情熱次第のようです。がんばってください。

# 半数が農家へ嫁ぐ気持あり

## 農業後継者協議会の未婚女性アンケートから

農業後継者は考える「我々農家をやっている者に嫁のきてがあるのだろうか？」  
「若い女性の農家に対する考え方はどうなんだろうか？」  
「結婚後の希望は、未来像は」……

農業後継者が日頃思い考えている結婚問題等について農業後継者連絡協議会では、町内の未婚女性四十二人を対象にして十二項目にわたるアンケート調査をころみしました。  
その結果の集計ができましたので項目別に分析してみました。

何歳くらいで結婚したいと  
一、二十歳(二十一人)  
二、二十歳以上(二十一人)  
三、二十歳以上(二十一人)  
四、二十歳以上(二十一人)  
五、二十歳以上(二十一人)  
六、二十歳以上(二十一人)  
七、二十歳以上(二十一人)  
八、二十歳以上(二十一人)  
九、二十歳以上(二十一人)  
十、二十歳以上(二十一人)  
十一、二十歳以上(二十一人)  
十二、二十歳以上(二十一人)

結婚する男性との年齢差は  
一、二歳(二十一人)  
二、三歳(二十一人)  
三、四歳(二十一人)  
四、五歳(二十一人)  
五、六歳(二十一人)  
六、七歳(二十一人)  
七、八歳(二十一人)  
八、九歳(二十一人)  
九、十歳(二十一人)  
十、十歳以上(二十一人)

農家へ嫁ぐ気持がありますか？  
はい(二十一人)  
いいえ(二十一人)  
このアンケート調査の中で農業後継者が一番関心を集めたのはこの項目ではなかったかと思えます。  
イエスの答えが二十一人(五十%)、ノーの答えが二十一人(五十%)で二人に一人農家に嫁ぐ気持があるとのこと。  
後継者のみなさん、意を決して女性ハントに挑戦してください。また、ノーの答の人にも農家はいいわいの理由について聞いてみました。

「いいえ」の理由  
一、農作業がきつい(十八人)  
二、収入が不安定である(十八人)  
三、収入が不安定である(十八人)  
四、収入が不安定である(十八人)  
五、収入が不安定である(十八人)  
六、収入が不安定である(十八人)  
七、収入が不安定である(十八人)  
八、収入が不安定である(十八人)  
九、収入が不安定である(十八人)  
十、収入が不安定である(十八人)

年間所得は  
一、一〇〇万円以下(十八人)  
二、一〇〇万円～二〇〇万円(十八人)  
三、二〇〇万円～三〇〇万円(十八人)  
四、三〇〇万円～四〇〇万円(十八人)  
五、四〇〇万円～五〇〇万円(十八人)  
六、五〇〇万円～六〇〇万円(十八人)  
七、六〇〇万円～七〇〇万円(十八人)  
八、七〇〇万円～八〇〇万円(十八人)  
九、八〇〇万円～九〇〇万円(十八人)  
十、九〇〇万円～一〇〇〇万円(十八人)

あなたの家庭は世間どの程度ですか？  
結婚後の家計は  
自分たちがもつ(三十一人)  
両親にまかせる(九人)  
自分たちが持ちたい希望が(七人)  
自分たちがもつ(三十一人)  
両親にまかせる(九人)  
自分たちが持ちたい希望が(七人)

農休日  
一週間に一回(二十四人)  
二週間に一回(十一人)  
一月一回(五人)  
一週間に一回農休日ほしい人が六十名にわたる(二十四人もあり)  
農休日もレジャー時代到来でサラリーマンと同じような生活形態を希望しているようです。  
しかし、現実がなかなかさびしいようです。  
現在町内で一月一回農休日を決めて美並し船遊に乗っている地区は大浜、中之浜の二地区のみです。若い後継者の働きへのよって農休日を制定するなど、農村改革の第一歩が切迫しているやうに見受けられます。

若夫婦だけで(十一人)  
家族を含めて農作業に従事したい女性が(七十一名)の二十七人ありました。親子の断絶、家庭不和が問題になっている現世、まことによ非(よこ)しいことですね。  
是非これを實現し、ミカン畑から一家たんの笑顔をこたまする光景が多く見られるようにしたいものです。

労働時間  
朝八時～夕五時(十六人)  
朝九時～夕四時(十二人)  
朝七時～夕四時(七人)  
これを見ますと普通の農家の標準的労働時間が希望のようです。  
子どもは何人ほしいですか  
三人(二十八人)  
五人以上(五人)  
五人以上(五人)  
五人以上(五人)  
五人以上(五人)  
五人以上(五人)  
五人以上(五人)  
五人以上(五人)  
五人以上(五人)  
五人以上(五人)

農作業は  
両親といっしょ(二十七人)  
一人で(三十二名)もありました。

便利メモ  
①このがはいっていい(ハンドル)キー入は、大きな水がほしいとき、型水車として大に役立つです。  
②赤んぼが成長して大用になったばはリンは、目が細かくきざされて透明なので、計量カップに転用できます。

お礼  
大浜市東浜川出口町九〇三番地においでで高松工業を運営されている高松定男氏(大浜出身)より四十円。

えんむすび  
昭和50年5月1日  
5月31日



お誕生  
おめでとう  
昭和50年5月1日  
5月31日

電話番号が  
かわっています  
電話番号の変更についてお知らせします。  
以前伊方駐在所にありました電話(八〇五〇〇)が、資料館移設に移転されていますが、現在使用している電話番号は、そのまま伊方駐在所の名前になっています。その関係で駐在所用件のある人が電話番号を見てもイカルをまわした場合は、資料館移設所にかかります。そこで、つきのように変更になっていますのでご注意ください。  
町駐在所の番号も変更になっています。

記事訂正  
先月号二面に伊方集会所の工事費二千七百円と紹介しましたが二千七百円の誤りがありました。訂正いたします。  
また三面に環境放射線(能)等測定局(モニタリングシステム)が九町地区内に設置され五月から測定を開始した記事の中で、九町地区に建設中の原子力発電所が五十二年一月から営業運転を開始しますが五十二年四月からの開始の誤り訂正いたします。

お礼  
大浜市東浜川出口町九〇三番地においでで高松工業を運営されている高松定男氏(大浜出身)より四十円。